

項目別評価は、法人から提出された業務実績報告書をもとに、法人からのヒアリング等を通じて業務実績の調査及び分析を行い、中期計画の項目ごとに以下の5段階で評価を行った。

<評価基準>

| 評価 | | 説明 |
|----|---------------------------------------|---|
| S | 当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている | 業務実績が、中期計画実現のための目標を大幅に上回っている場合で、次の条件に該当する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定量的目標が定められている場合で、目標の水準を大幅に上回る実績や成果がある ・ 定量的目標が定められていない場合で、実績や成果が卓越した水準にあると認められる ・ 県政や県民の新たなニーズに迅速に対応した取り組みにより高い実績や満足度を実現している |
| A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | 業務実績が、中期計画実現のための目標を上回っており、S評価に該当しない場合 |
| B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | 業務実績が、中期計画実現のための目標を概ね達成している場合 |
| C | 当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている | 業務実績が、中期計画実現のための目標を下回っており、D評価に該当しない場合 |
| D | 当該事業年度における中期計画の実施状況が著しく劣っており、大幅な改善が必要 | 業務実績が、中期計画実現のための目標を下回っており次の条件に該当する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定量的目標が定められている場合で、目標の水準を大幅に下回ることが明らかである ・ 提供すべきサービス、財務内容、その他業務運営に重大な取崩が認められる |

第2 項目別評価

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 医療の提供
(1) 政策医療の提供

1 医療の提供
県立病院として担う政策医療を確実に実施するとともに、医療の質の向上に努め、県民に信頼される医療を提供すること。
(1) 政策医療の提供
救命救急医療や総合周産期母子医療、精神科救急・急性期医療や児童思春期精神科医療など、他の医療機関では対応が困難であるが県民生活に欠くことのできない政策医療を提供し、本県の基幹病院としての役割を担うこと。
また、がんや難病、エイズ、感染症といった県の拠点病院に指定されている疾病について重点的に取り組み、本県医療水準の向上に先導的な役割を果たすこと。
さらに、心身喪失者等医療観察法に基づく医療を提供すること。

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|---|
| <p>1 医療の提供 山梨県の基幹病院として求められる政策医療を的確に実施するとともに、高度・特殊・先駆的な医療の推進をはじめ、県民に信頼される質の高い医療を提供す</p> <p>(1) 政策医療の提供 ① 県立中央病院 救命救急医療、総合周産期母子医療、がん医療をはじめとした県民生活に欠くことのできない医療の提供に向けて、一層の高度化、専門化を図る。</p> <p>ア 救命救急医療 山梨県の三次救急医療を担う救命救急センターと各診療科が連携を図る中で、多発外傷をはじめ、循環器疾患や脳神経疾患に対する迅速で効率的な治療を行うなど、救命救急医療の充実を図る。 また、医師により早期の治療を行うため、ドクターヘリの導入に向けた可能性の研究・検討を行う。</p> | <p>1 医療の提供</p> <p>(1) 政策医療の提供 ① 県立中央病院 救命救急医療、総合周産期母子医療、がん医療をはじめとした県民生活に欠くことのできない医療の提供に向けて、一層の高度化、専門化を図る。</p> <p>ア 救命救急医療 ・ 三次救急医療を担う救命救急センターと各診療科が連携を図り、迅速で効率的な治療を行う。 ・ ドクターヘリの導入に向け、県の検討状況を踏まえながら受入病院としての研究・検討を行う。 ・ DMAT車両を活用した救命救急活動の検討を行う。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|---------------------------|---------------------------|--|-----|-----|-----------|----------|-----------------|----------------|------|----------------|--|----|---|---------------------------|
| <p>(1) 救命救急医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>・オンコールの呼び出しなど、各診療科の専門医と連携して治療を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オンコール出動時間</td> <td>16,992時間</td> <td>18,606時間(9.5%増)</td> </tr> <tr> <td>救命救急センターの救急患者数</td> <td>982人</td> <td>1,119人(14.0%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・県ドクターヘリ導入可能性検討委員会に参加し、導入が望ましいとの報告書が提出され、ドクターヘリ搭乗研修の受講や3月に業者選定委員会を開催した(5月に業者は決定済み)。平成24年4月の運航開始に向けた準備段階に入った。</p> <p>・治療開始を早め、救命率を向上させるため、8月からDMATカーによる治療を開始した。また、乗車した当院医師が、中間地点で救急車に乗り換えて、救命活動も行っている(年 40回出動)。</p> | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | H21 | H22 | オンコール出動時間 | 16,992時間 | 18,606時間(9.5%増) | 救命救急センターの救急患者数 | 982人 | 1,119人(14.0%増) | <p>(1) 救命救急医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p><特記事項></p> <p>救命救急センターと各診療科が連携を図ることで、救急患者の受け入れ人数が1,119人と前年度から14%増加し、また、8月に導入したドクターカーの出動実績も7ヶ月余で40回となり、重症重篤な患者の救命に大きく寄与したことを評価する。</p> | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | |
| オンコール出動時間 | 16,992時間 | 18,606時間(9.5%増) | | | | | | | | | | | | | | |
| 救命救急センターの救急患者数 | 982人 | 1,119人(14.0%増) | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | |

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|---|
| <p>イ 総合周産期母子医療 県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、分娩取扱医療機関との連携を図りながら、ハイリスクの妊婦・胎児及び新生児に対し、総合的、専門的な医療を提供する。</p> | <p>イ 総合周産期母子医療 地域の分娩取扱機関との連携を図りながら、ハイリスクの妊婦・胎児及び新生児に対し、総合的、専門的な医療を提供する。</p> |
| <p>ウ がん医療 専門的ながん医療の提供、地域との連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援・情報提供などがん診療拠点病院としての機能を拡充するとともに院内のより緊密な連携体制を確立する中で、チーム医療を推進するなど、がんの包括的診療体制の整備（センター化）を進め、がん医療の質の向上に努める</p> <p>(ア) 外来化学療法室の整備 5大がん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん)を中心としたがん診療を充実するため外来理学療法室を整備する。</p> <p>(イ) キャンサーボードの充実 がん患者の状態や意向を踏まえた適切な治療を行うため、各専門領域の医師が一堂に会して、手術、化学療法、放射線療法などの治療方法を包括的に議論する場であるキャンサーボードを充実する。</p> <p>(ロ) 緩和医療チームの充実 身体症状及び精神症状の緩和に携わる医師、専門の看護師などにより構成する緩和医療チームを整備するとともに、がん患者に対して初期段階からの緩和ケア診療を充実する。</p> | <p>ウ がん医療 がん診療における医療機関の役割分担を進め、がん医療の質の向上と安全の確保を図るために、地域連携クリニカルパスを平成23年度までに地域がん診療連携拠点病院と共同で作成する。</p> <p>(ア) 外来化学療法室の整備 がん診療を充実するため、外来化学療法室を整備し、外来化学療法を推進する。</p> <p>(イ) キャンサーボードの充実 がん患者の状態や意向を踏まえた適切な治療を行うため、各専門領域の医師が一堂に会して、手術、化学療法、放射線療法などの治療方法を包括的に議論する場であるキャンサーボードを充実する。</p> <p>(ロ) 緩和医療チームの充実 身体症状及び精神症状の緩和に携わる医師、専門の看護師などから構成する緩和医療チームを整備し、緩和ケア診療を充実する。 初期段階からの緩和ケア診療を充実する。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------|---------------------------|---------------------------|--|-----|--|-----|-------|-----------|---|----------|--------|-----------|---|----------|--|-----|--|-----|------------------|-----|---|-------------|--|--|--|---------------|------------|--|--|--|----|------|---|--------------|-----|-----|---|-------------|----|---|---------------------------|---------------------|--|--|--|--|-------|--|-------|----|------|---|--------------|----|------|---|--------------|--|-----|--|-----|---------|--------|---|----------------|--|--|--|--------------|---------------|--|--|------|--|--|--|-----|-----|------------|---------|-----------------|----------------|--------|----------------|---|----|---|---------------------------|----|---|---------------------------|
| <p>(2) 総合周産期母子医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>・県内全てのハイリスクの妊婦等の受入れを、国立甲府病院、山梨大付属病院などと役割分担し、専門的な医療を提供している。</p> <p>平成22年度の乳児死亡率1.1人(生後1年未満)と新生児(生後4週未満)の死亡率0.3人は全国ベスト1位である。特に、乳児死亡率は、ベスト1位に再び返り咲いた。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td></td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>乳児死亡率</td> <td>2.7人(37位)</td> <td>→</td> <td>1.1人(1位)</td> </tr> <tr> <td>新生児死亡率</td> <td>1.7人(41位)</td> <td>→</td> <td>0.3人(1位)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td></td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>新生児(1,500g以下)入院数</td> <td>51件</td> <td>→</td> <td>59件(15.6%増)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(県全体の93.7%取扱)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>中病への救急搬送実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>母体</td> <td>106件</td> <td>→</td> <td>129件(21.7%増)</td> </tr> <tr> <td>新生児</td> <td>60件</td> <td>→</td> <td>85件(41.7%増)</td> </tr> </table> <p>(3) がん医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>・本県に最もふさわしく、かつ将来の「がん治療」のあるべき姿を考察し、通院がんセンター(ATCC-Ambulatory Therapeutic Cancer Center)構想を打ち出し、その準備として、抗がん剤ミキシングルームと外来化学療法室(20床)を整備し、加療にあたっている。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="4">がん化学療法治療患者の入院と外来の比較</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H22.6</td> <td></td> <td>H23.3</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>228人</td> <td>→</td> <td>201人(11.8%減)</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>292人</td> <td>→</td> <td>442人(51.4%増)</td> </tr> </table> <p>・その結果、外来化学療法患者は51.4%増加した。</p> <p>・また、当院受診のがん外来患者が増加し、県の施策の一環としてATCC構想が取り入れられ、鋭意準備中である。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td></td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>がん外来患者数</td> <td>1,477人</td> <td>→</td> <td>2,302人(55.9%増)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10月～3月同期比較)</td> </tr> </table> <p>・また、新規入院患者も23.6%増加した。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">中央病院におけるがん患者数</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(暦年)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>A 年間新入院患者数</td> <td>11,484人</td> <td>13,497人(17.5%増)</td> </tr> <tr> <td>B うち年間新入院がん患者数</td> <td>3,540人</td> <td>4,375人(23.6%増)</td> </tr> </table> <p>・がん診療の情報をわかり易く県民の皆様様に理解していただくために、新たに、10月から毎月1回、県民向けがんセミナーを開催した(6回開催参加者 574名)。</p> <p>・4月から消化器、呼吸器、頭頸部、がん診療部の4つのキャンサーボードを毎月開催し、院外の医療従事者にもメールを設営して開放した。1年間で42回開催し、がん治療の質の向上のために、生存率の改善と患者の生活の質の向上を目指し、熱い議論を交わしている。</p> | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | H21 | | H22 | 乳児死亡率 | 2.7人(37位) | → | 1.1人(1位) | 新生児死亡率 | 1.7人(41位) | → | 0.3人(1位) | | H21 | | H22 | 新生児(1,500g以下)入院数 | 51件 | → | 59件(15.6%増) | | | | (県全体の93.7%取扱) | 中病への救急搬送実績 | | | | 母体 | 106件 | → | 129件(21.7%増) | 新生児 | 60件 | → | 85件(41.7%増) | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | がん化学療法治療患者の入院と外来の比較 | | | | | H22.6 | | H23.3 | 入院 | 228人 | → | 201人(11.8%減) | 外来 | 292人 | → | 442人(51.4%増) | | H21 | | H22 | がん外来患者数 | 1,477人 | → | 2,302人(55.9%増) | | | | (10月～3月同期比較) | 中央病院におけるがん患者数 | | | (暦年) | | | | H21 | H22 | A 年間新入院患者数 | 11,484人 | 13,497人(17.5%増) | B うち年間新入院がん患者数 | 3,540人 | 4,375人(23.6%増) | <p>(2) 総合周産期母子医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p><特記事項></p> <p>県内唯一の総合周産期母子医療センターとして新生児(1500g以下)の9割以上となる59件の受け入れを行うとともに、母体の救急搬送受け入れ件数も129件と前年度を21.7%増加し、新生児の救急搬送受け入れ件数も85件と前年度を41.7%増加しており、ハイリスクの妊婦、胎児及び新生児に対する総合的、専門的な医療の提供を積極的に行い実績を上げたことを評価する。</p> <p>(3) がん医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p><特記事項></p> <p>最適ながん治療を推進するため、各分野の専門医や看護師、薬剤師など、多職種の医療スタッフが一堂に集まり、症例に対する最適な治療を検討する会議(キャンサーボード)を立ち上げ、チームとしてがん医療に取り組んでいる。</p> <p>また、6月には外来化学療法室を開設し、専任のスタッフを配置するなど、安全面に配慮した体制作りを行った。</p> <p>これにより、がん新規入院患者が4,375人と前年度に比べて23.6%増加し、また、3月の外来化学療法患者も442人と開設時に比べて51.4%増加しており、積極的な取り組みと実績を評価する。</p> | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳児死亡率 | 2.7人(37位) | → | 1.1人(1位) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新生児死亡率 | 1.7人(41位) | → | 0.3人(1位) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新生児(1,500g以下)入院数 | 51件 | → | 59件(15.6%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | (県全体の93.7%取扱) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中病への救急搬送実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 母体 | 106件 | → | 129件(21.7%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新生児 | 60件 | → | 85件(41.7%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| がん化学療法治療患者の入院と外来の比較 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H22.6 | | H23.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入院 | 228人 | → | 201人(11.8%減) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外来 | 292人 | → | 442人(51.4%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| がん外来患者数 | 1,477人 | → | 2,302人(55.9%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | (10月～3月同期比較) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中央病院におけるがん患者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (暦年) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A 年間新入院患者数 | 11,484人 | 13,497人(17.5%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B うち年間新入院がん患者数 | 3,540人 | 4,375人(23.6%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|--|
| <p>エ 難病（特定疾患）医療 県立病院の機能を活かして専門医の継続的な治療を行うとともに、関係医療機関との連携を強化しながら最適な医療提供を行う。</p> | <p>エ 難病（特定疾患）医療 専門医の継続的な治療を行うとともに、関係医療機関との連携を強化しながら、最適な医療提供を行う。</p> |
| <p>オ エイズ医療 患者に対する総合的、専門的な医療を提供するとともに、臨床心理士によるカウンセリングを導入するなど、エイズ治療拠点病院としての機能を発揮する。</p> | <p>オ エイズ医療 患者に対する総合的、専門的な医療を提供するとともに、患者の精神的負担をケアするため、臨床心理士によるカウンセリングを実施する。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------|---------------------------|---------------------------|---|-----|-----|---------------------------|------|----|-------|------|-----|--------|------|----|--|----|---|---------------------------|
| <p>(4) 難病（特定疾患）医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・難病医療拠点病院として、難病医療協力病院（12病院）とも連携を図りながら、最適な医療を提供している。すべての特定疾患は山梨大学、神経難病を除く特定疾患は中央病院も役割分担している。</p> <p>・炎症性腸疾患、ことにクローン病には新たな薬剤（インフリキシマブ）により、新たなパラダイムシフトを図った。</p> <p>・より迅速なC型肝炎治療薬の開発のための準備に入った（日本初のグローバル治験 P34）。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | <p>(4) 難病（特定疾患）医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(5) エイズ医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・患者からの要望に応じ、医師の判断に基づいて、臨床心理士によるカウンセリングを実施した（3回実施）。また、臨床心理士を含む、HIV部会を開催し、事例研修、診療方針等を決定している（10回実施）。</p> <p>・エイズ研修会を開催した（3回実施）。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>カウンセリング</td> <td>3回 →</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>HIV部会</td> <td>3回 →</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>エイズ研修会</td> <td>3回 →</td> <td>3回</td> </tr> </table> <p>・平成2年以降、79名の感染者の検査および診療が行われ、現在38名の方が通院している。平成22年度の新規症例は7名であった。近年はHIV感染診断後に早期に紹介受診する症例が多く、日和見感染発症後の症例が少なくなっている。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | H21 | H22 | カウンセリング | 3回 → | 3回 | HIV部会 | 3回 → | 10回 | エイズ研修会 | 3回 → | 3回 | <p>(5) エイズ医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カウンセリング | 3回 → | 3回 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| HIV部会 | 3回 → | 10回 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エイズ研修会 | 3回 → | 3回 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|--|
| <p>カ 感染症医療 一類感染症（エボラ出血熱など7疾患）患者を受け入れる病室を活用し、第1種感染症指定医療機関としての医療を提供する。 また、新型インフルエンザ患者など感染症患者に対する外来診療や重篤患者に対する陰圧個室を使った入院治療など、専門的な医療を提供する。</p> | <p>カ 感染症医療 一類感染症（エボラ出血熱など7疾患）患者を受け入れる病室を活用し、第1種感染症指定医療機関としての医療を提供する。 また、新型インフルエンザ患者など感染症患者に対する外来診療や重篤患者に対する陰圧個室を使った入院治療など、専門的な医療を提供する。</p> |
| <p>②県立北病院 精神科救急・急性期医療などの充実を図るとともに、新たに心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能を整備する。 ア 精神科救急・急性期医療 集中的な治療を要する患者に、急性期の特性に合わせて、手厚い治療と多職種治療チームによる総合的で一貫した医療を提供することで早期退院を図り、通院や退院後のリハビリテーションに結びつける。</p> | <p>②県立北病院 精神科救急・急性期医療などの充実を図るとともに、心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関としての機能を整備する。 ア 精神科救急・急性期医療 集中的な治療を要する患者に、急性期の特性に合わせて、手厚い治療と多職種治療チームによる総合的で一貫した医療を提供することで早期退院を図り、通院や退院後のリハビリテーションに結びつける。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------|---------------------------|---------------------------|--|-----|--|-----|--------------|---------|---|-----------------|-----------|--------|---|---------------|--------|-----|--|-----|--------|-------|---|---------------------|--|-------|---|---------------------------|--|----|---|---------------------------|
| <p>(6) 感染症医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>一類感染症の患者を受け入れられる感染症病床2床、結核病床20床を確保し、受入体制を整備した。3月31日現在の結核病床入院患者数は8人、年間3,078人が入院。</p> <table> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td></td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>3月31日現在入院患者数</td> <td>10人</td> <td>→</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>年間入院患者数</td> <td>3,914人</td> <td>→</td> <td>3,078人</td> </tr> </table> <p>平成22年度は新型インフルエンザ感染症患者がいなかったが、小児科の水疱瘡患者5名に対して陰圧個室を使った入院治療を行った。</p> <table> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td></td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>陰圧個室治療</td> <td>10人</td> <td>→</td> <td>5人</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | H21 | | H22 | 3月31日現在入院患者数 | 10人 | → | 8人 | 年間入院患者数 | 3,914人 | → | 3,078人 | | H21 | | H22 | 陰圧個室治療 | 10人 | → | 5人 | <p>(6) 感染症医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3月31日現在入院患者数 | 10人 | → | 8人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年間入院患者数 | 3,914人 | → | 3,078人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 陰圧個室治療 | 10人 | → | 5人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(7) 精神科救急・急性期医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・増加する救急・急性期の患者に対応するため、毎週、医師、看護師、ケースワーカー、デイケアなどのコメディカルによるケース会議を開催するとともに、新しい薬物治療の導入や心理社会的治療、修正型電気治療(M-ECT)などを適切に行い、症例の多様化・重症化が進む中で入院期間の長期化の防止、退院後のリハビリテーションに取り組んだ。</p> <table> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td></td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>20,140人</td> <td>→</td> <td>20,658人 (2.6%増)</td> </tr> <tr> <td>M-ECT実施回数</td> <td>603回</td> <td>→</td> <td>717回 (18.9%増)</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・救急病棟</td> <td>56.2日</td> <td>→</td> <td>65.8日 (医療観察法病棟を含む。)</td> </tr> <tr> <td>・急性期病棟</td> <td>56.2日</td> <td>→</td> <td>69.2日</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | H21 | | H22 | 入院患者数 | 20,140人 | → | 20,658人 (2.6%増) | M-ECT実施回数 | 603回 | → | 717回 (18.9%増) | 平均在院日数 | | | | ・救急病棟 | 56.2日 | → | 65.8日 (医療観察法病棟を含む。) | ・急性期病棟 | 56.2日 | → | 69.2日 | <p>(7) 精神科救急・急性期医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入院患者数 | 20,140人 | → | 20,658人 (2.6%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| M-ECT実施回数 | 603回 | → | 717回 (18.9%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平均在院日数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・救急病棟 | 56.2日 | → | 65.8日 (医療観察法病棟を含む。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・急性期病棟 | 56.2日 | → | 69.2日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 中期計画 | 年度計画 |
|--|---|
| <p>イ 児童思春期精神科医療 思春期に特有な精神疾患の治療について、県内唯一の児童思春期病棟を中心に、関係機関と連携して医療を提供する。</p> | <p>イ 児童思春期精神科医療 思春期に特有な精神疾患の治療について、児童思春期病棟を中心に、関係機関と連携して医療を提供する。</p> |
| <p>ウ 心神喪失者等医療観察法に基づく医療 心身喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関を整備し、対象者に対して、一貫した治療体系の中で適切な治療を提供し、社会復帰の促進を図る。</p> | <p>ウ 心神喪失者等医療観察法に基づく医療 心身喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関を整備し、入院治療を開始する。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | |
|--|----------|---------------------------|---------------------------|--|----|---|---------------------------|
| <p>(8) 児童思春期精神科医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・増加する児童思春期患者に対して、スピーディな初診、各種検査、特にサイコロジストによる心理検査を行うとともに、重症例については専門病棟における入院治療を行い、思春期心性にも注意しながら、家族や学校、関連機関と連携を図った。 また、退院後のフォローアップを充実させるため、平成22年度から思春期精神科ショートケアを週3回行い、562人が参加した。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | <p>(8) 児童思春期精神科医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | |
| <p>(9) 心神喪失者等医療観察法に基づく医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>・平成22年7月、心神喪失者等に対応するため、精神科救急入院科病棟に併設する医療観察法病棟を開設し、小規模併設型指定入院医療機関の指定を受けた。 医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者等の専任スタッフを増員し、精神科医療の中でも最も高規格な医療体制で医療を行える環境を整備した。 平成22年度は3人が指定入院となり、多職種医療チームによる充実した医療体制の中で、病状は改善してきている。</p> <p>施設概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート平屋建て ・トイレ付き個室5室 診察室3室、保護室、精神療法室 作業療法室、面会室、談話スペース等 ・総事業費 2億9千万円 ・7月以降、3人が入院、県内出身者であれば常時受入れ可能 | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | <p>(9) 心神喪失者等医療観察法に基づく医療</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>＜特記事項＞</p> <p>7月に県内初となる医療観察法病棟を開設し、多職種チームによる充実した医療体制を整え、3名の患者を受け入れ、社会復帰に向けた治療を行っており、県内唯一の医療観察法指定入院医療機関としての積極的な取り組みを評価する。</p> | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | |

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

- 1 医療の提供
 (2) 質の高い医療の提供

中期目標
 1 医療の提供
 (2) 質の高い医療の提供
 専門的知識と技術の向上に努めるとともに、優秀な、医師・看護師等（以下「医療従事者」という。）の確保を図ることなどにより、先駆的で質の高い医療を提供すること。

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|--|
| (2) 質の高い医療の提供 県立病院の有するあらゆる医療資源を活かし、各部門の密接な連携を図る中で、地方独立行政法人制度の特徴である弾力的・効率的で透明性の高い運営を行い、より一層県民に信頼される質の高い医療を提供する。 | (2) 質の高い医療の提供 |
| ①医療従事者の確保 ア 医師の育成・確保 高度で専門的な医療を提供するため、人間的資質が優れ、診察能力が高い医師の育成・確保に努める。 | ②医療従事者の確保 ア 医師の育成・確保 ・ 質の高い医療を提供するため、引き続き関係機関との連携を図り、医師の確保に努める。 ・ 医師の研修内容や育成方法について検討を進める。 ・ 研修医などを対象とした医師宿舎を新築し、働きやすい環境の整備を行う。 |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|----------------------------|---------------------------|--|-----|-----|-----|-----|-------------|-----|----|-------------|--|--|------------------------|--|--|----------------------------|--|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|---|----|----|-------------------|---|----|---|---------------------------|
| <p>(10) 医師の育成・確保</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>・都内における病院説明会の開催など研修医募集の広報活動を精力的に実施した結果、研修医に30名の応募があり、そのうち中間発表時における当機構への1位希望者は16人となり、定員とのフルマッチが確定し、平成23年度の研修医として14名を採用した。</p> <p>・専修医（後期研修医）を対象としたレジナビフェア2010への出展等の募集広報活動を積極的に実施し、平成23年度の専修医として13名（前年度の9名より44%増）を採用した。 新規採用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医</td> <td>10名</td> <td>14名(40.0%増)</td> </tr> <tr> <td>専修医</td> <td>9名</td> <td>13名(44.4%増)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>* 専修医:H22、H23ともうち2名は北病</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>* 研修医:H22、H23ともに自治医大生2名を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>研修医、専修医在籍数の推移（各年4月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>専修医</td> <td>16</td> <td>21</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>42</td> <td>43</td> <td>52 (H21対比 23.8%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 専修医:H22、H23ともうち2名は北病 * 研修医:自治医大生H22=2名、H23=4名を含む</p> <p>・平成22年度から月2回のペースでMedical Ground Rounds（研修医・専修医向け実践的講義）を新たに実施した。毎回、参加者は40名を超え、熱心な議論が交わされている。</p> <p>・2月に医師宿舎（レジデントクォーター）が完成し、24室中22室に入居している。</p> <p>構造 鉄筋コンクリート3階建て 1K 24室 住所 甲府市富士見1丁目 工事費 2億500万円</p> | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | H22 | H23 | 研修医 | 10名 | 14名(40.0%増) | 専修医 | 9名 | 13名(44.4%増) | | | * 専修医:H22、H23ともうち2名は北病 | | | * 研修医:H22、H23ともに自治医大生2名を含む | | H21 | H22 | H23 | 研修医 | 26 | 22 | 24 | 専修医 | 16 | 21 | 28 | 計 | 42 | 43 | 52 (H21対比 23.8%増) | <p>(10) 医師の育成・確保</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p><特記事項></p> <p>研修医や専修医の確保に向けた積極的な広報活動などにより、多数の応募があり、研修医14名、専修医13名と、前年を大きく上回る採用に繋がった。特に、研修医については、県全体では定員を大きく下回る中で、定員を充足したことは、評価に値する。</p> | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H22 | H23 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修医 | 10名 | 14名(40.0%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専修医 | 9名 | 13名(44.4%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | * 専修医:H22、H23ともうち2名は北病 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | * 研修医:H22、H23ともに自治医大生2名を含む | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | H22 | H23 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研修医 | 26 | 22 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専修医 | 16 | 21 | 28 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 42 | 43 | 52 (H21対比 23.8%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|---|
| <p>イ 7対1看護体制の導入</p> <p>患者一人一人の症状に応じた、きめ細かな看護を実施するため、県立中央病院において、入院患者7人に看護師1人を配置する7対1看護体制を導入するとともに、適切な人事管理などを進め、県立病院への定着を図る。</p> | <p>イ 7対1看護体制の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師採用試験の複数回実施や、県外での試験の実施、中途採用などの多様な採用方法を導入し、必要な看護師の確保を図る。 ・よりきめ細やかな看護の実施や、看護師の離職防止に役立つことから、運用病床や看護師の配置の見直しを行い、7月から7対1看護体制を導入する。 |
| <p>②医療の標準化と最適な医療の提供</p> <p>ア クリニカルパスの推進</p> <p>治療内容とタイムスケジュールを明確に示すことで患者の不安を解消するとともに、治療手順の標準化、平均在院日数の適正化など、最適な医療を提供するため、クリニカルパスを推進する。</p> | <p>②医療の標準化と最適な医療の提供</p> <p>ア クリニカルパスの推進</p> <p>現在、適用しているクリニカルパスの点検・見直しを行うとともに、新たなパスの導入の仕組み作りを進める。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|---------------------------|---------------------------|---|-----|-----|---------------------------|-----|-------------|-----|----|--------------|---|----|---|---------------------------|
| <p>(11) 7対1看護体制の導入</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・7対1看護体制の導入については、4月に新たに創設された病院会議で合議をし、全体のコンセンサスを得た後、7月に前倒し導入に踏み切った。</p> <p>・”早く、きれいに治す”という病院全体の合意形成のもと、医師は医療技術の向上を目指すとともに、院内ネットワーク形成のために、日々の患者入院動態を電子カルテ上に刻々表示し、全職員が対応した結果、在院日数が減少(15.9日から14.0日)した。看護師の純増(36人)と相まって、7対1看護体制の安定的な運用が可能となった。</p> <p>・7対1看護体制の導入という一つの目的に向かって邁進する、この点が職員の意識改革を呼び起こし、その後の経営改善に大きく寄与する結果となった。</p> <p>・看護師確保対策として看護師採用試験は、年4回実施し、平成23年4月1日付けの新採用職員として、62名を採用した(前年度比 6名増)。また、中途退職者の補充のため、正規職員の中途採用を実施した(8月採用2人、10月採用2人)。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | <p>(11) 7対1看護体制の導入</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(12) クリニカルパスの推進</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・電子化されたクリニカルパスはH21年度比21.8%増、274件となり、ほぼ全病棟で順調な運用が開始されている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パス数</td> <td>225</td> <td>274(21.8%増)</td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td>52</td> <td>114(119.2%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H22に49件新設</p> <p>・クリニカルパスの充実と効率的病床運営のため、医療連携部による退院患者への対応(後方支援)が、院内の最適医療提供とともに、地域完結型医療の形成に向け貢献した。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | H21 | H22 | パス数 | 225 | 274(21.8%増) | 見直し | 52 | 114(119.2%増) | <p>(12) クリニカルパスの推進</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | |
| パス数 | 225 | 274(21.8%増) | | | | | | | | | | | | | | |
| 見直し | 52 | 114(119.2%増) | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|---|
| <p>イ 診断群分類包括評価（DPC）の導入 医療内容の標準化を進めてより適切な医療を提供するため、県立中央病院において、専門の職員を採用し、診断群分類包括評価（DPC）を導入するとともに、そこから得られる詳細な診療情報を最大限活用する。</p> | <p>イ 診断群分類包括評価（DPC）の導入 県立中央病院において、7月から診断群分類包括評価（DPC）を導入するとともに、そこから得られる情報を医療サービスの見直しに活用する。</p> |
| <p>③高度医療機器の計画的な更新・整備 各種高度医療機器を計画的に更新・整備するとともに適切な維持管理を行う。</p> | <p>③高度医療機器の計画的な更新・整備 各種高度医療機器を計画的に更新・整備するとともに適切な維持管理を行う。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | |
|--|----------|---------------------------|---------------------------|--|----|---|---------------------------|
| <p>(13) 診断群分類包括評価（DPC）の導入</p> <table border="1" data-bbox="1182 161 1778 220"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・7月からDPCを導入した。DPCから得られる他の病院の診療内容を分析、検討し、改善を行うことで医療の標準化や効率化に取り組んだ。</p> <p>・従来の出来高方式と比較すると、医療の標準化、効率化が図られ、2.3%の増収となった。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | <p>(13) 診断群分類包括評価(DPC)の導入</p> <table border="1" data-bbox="1832 161 2123 220"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | |
| <p>(14) 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <table border="1" data-bbox="1182 735 1778 794"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・中期計画の年度計画に基づき、中央病院のMRIや人工心肺装置、北病院の多項目自動血球分析装置等を更新・整備した。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | <p>(14) 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <table border="1" data-bbox="1832 735 2123 794"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | |

| |
|--|
| 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 医療の提供 (3) 県民に信頼される医療の提供 |
|--|

| |
|---|
| 中期目標 1 医療の提供 (3) 県民に信頼される医療の提供 県民・患者の視点に立ち、県民ニーズを踏まえた信頼される医療を提供すること。 |
|---|

| 中期計画 | 年度計画 |
|--|--|
| (3) 県民に信頼される医療の提供 医療の専門化・高度化が進む中で、疾病や診療に関する十分な説明を行い、患者・家族の理解を得るとともに、医療安全対策を徹底し県民に信頼される医療の提供に努める。 | (3) 県民に信頼される医療の提供 |
| ①医療倫理の確立 患者の尊厳を尊重する医療倫理を確立するため、倫理委員会でのチェックや職員研修を実施する。 | ①医療倫理の確立 患者の尊厳を尊重する医療倫理を確立するため、倫理委員会でのチェックや職員研修を実施する。 |
| ②患者・家族との信頼・協力関係の構築 疾病の特性・医療行為の内容と効果及び副作用・リスクに関する十分な説明と理解（インフォームド・コンセント）に基づき最適な医療を提供する。 また、医療行為等に関し、患者との見解の相違などが生じた場合には、担当医師等を中心として、真摯にかつ適切な対応を図る。 | ②患者・家族との信頼・協力関係の構築 疾病の特性・医療行為の内容と効果及び副作用・リスクに関する十分な説明と理解（インフォームド・コンセント）に基づき最適な医療を提供する。 また、医療行為等に関し、患者との見解の相違などが生じた場合には、担当医師等を中心として、真摯にかつ適切な対応を図る。 |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | |
|--|----------|----------------------------|---------------------------|--|----|---|----------------------------|
| (15) 医療倫理の確立 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> ・倫理委員会において、改正臓器移植法の施行に伴い、脳死下臓器提供マニュアルの見直しや被虐待児を除外するマニュアルの策定を行った。 ・倫理委員会において、9月に、「患者の権利保護研修会」、11月に医療倫理研修会(周産期医療における倫理的問題)を開催した。 | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | (15) 医療倫理の確立 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 | | | | | |
| (16) 患者・家族との信頼・協力関係の構築 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> ・インフォームド・コンセントに基づき、適切に実施した。 ・医師、看護部および医療連携部間の連携を密に行うため、医療連携部による病棟回診が開始され、入院(いわゆる前方支援)から退院(後方支援)まで円滑化を図った。 ・看護部でも独自に患者家族に看護計画の内容を伝えるケアを実施した。 | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | (16) 患者・家族との信頼・協力関係の構築 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 | | | | | |

| 中期計画 | 年度計画 |
|--|--|
| <p>③医薬品等に関する情報の的確な提供 医薬品の処方、投薬の安全性の確保に努めるとともに医薬品情報検索システムの活用などにより、処方上の留意点など医薬品情報の共有化を図り、患者に対する服薬指導を実施する。</p> | <p>③医薬品等に関する情報の的確な提供 医薬品の処方、投薬の安全性の確保に努めるとともに処方上の留意点など医薬品情報の共有化を図り、患者に対する服薬指導を実施する。</p> |
| <p>④患者サービスの向上 外来患者の待ち時間や患者満足度調査を毎年定期的実施し、より正確な実態の把握に努め、診療予約制度の効率的運用など各種サービスの向上に努める。</p> | <p>④患者サービスの向上 外来患者の待ち時間や患者満足度調査を実施し、診療予約制度の効率的運用など各種サービスの向上に努める。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------|----------------------------|---------------------------|--|-----|-----|---------------------------|--------|--------|------|--------|--------|--|----|---|----------------------------|
| <p>(17) 医薬品等に関する情報の的確な提供</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・患者とのコミュニケーションを図るとともに情報システムを活用し、処方薬の薬効や服薬方法についてわかりやすく説明し、患者が納得して服薬できるように服薬指導を実施した。 (3月末現在 患者数2,093人、回数2,227件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数</td> <td>2,111人</td> <td>2,093人</td> </tr> <tr> <td>指導回数</td> <td>2,271件</td> <td>2,227件</td> </tr> </tbody> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | H21 | H22 | 患者数 | 2,111人 | 2,093人 | 指導回数 | 2,271件 | 2,227件 | <p>(17) 医薬品等に関する情報の的確な提供</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | |
| 患者数 | 2,111人 | 2,093人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 指導回数 | 2,271件 | 2,227件 | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(18) 患者サービスの向上</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>・最前線での患者サービスの向上を目的として、法人化直後の4月から、院長をはじめ、医師が総合案内に立ち、看護及び事務部門と協力し、医療相談や患者への診察案内を開始した。</p> <p>・外来患者を対象にした患者満足度調査を実施した。調査結果を法人化前後で比較すると、接遇や診察内容、職員の対応等すべての12項目で改善した。 (回収数 外来患者5,733人に5日間にわたり調査、 回答数2,370 (約41.3%))</p> <p>・中でも、受診時の職員の「態度」、「言葉遣い」等の接遇や診察内容、職員の対応等の満足度については、職員の接遇がほぼ満足という結果を得た。</p> <p>・また、診察内容については、医師の対応内容の満足度が最も高かった。</p> <p>・一方、駐車場に対する「不満」と「非常に不満」が全体の14%で、他の部門と比較して満足度が低かった。</p> <p>・その対応として、駐車場の混雑解消のために、2月から職員駐車場を一般外来者に開放し、来院者の混雑はほぼ解消した。</p> | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | <p>(18) 患者サービスの向上</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p><特記事項></p> <p>患者満足度調査の結果、接遇や診察内容、職員の対応など12項目すべてが改善したことや、院長をはじめ全職員が総合案内で患者に対応するという、新たな取り組みを始めたことなど、積極的な取り組みを評価する。 今後も、患者の視点に立った調査内容とするなど、患者からの要望を的確に把握し、一層のサービスの向上に努めることを期待する。</p> | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | |

| 中期計画 | 年度計画 |
|--|--|
| <p>⑤診療情報の適切な管理 紙カルテの適切な保管、電子カルテに係る運用規定の遵守など患者の診療情報を厳格に管理するとともに、患者・家族に対する診療情報の開示を適切に実施する。</p> | <p>⑤診療情報の適切な管理 紙カルテの適切な保管、電子カルテに係る運用規定の遵守など患者の診療情報を厳格に管理するとともに、患者・家族に対する診療情報の開示を適切に実施する。</p> |
| <p>⑥診療支援システムの充実 県立北病院において、適切で効率的な医療を提供するため、電子カルテの導入や既存システムの機能向上など、各種診療支援システムを充実する。</p> | <p>⑥診療支援システムの充実 県立北病院において、電子カルテ、オーダーリングシステム、医事会計システム等を中心とした診療支援システムを整備する。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | |
|---|----------|----------------------------|----------------------------|--|-----|-----|----------------------------|-----|---------------|---|----|---|---------------------------|
| <p>(19) 診療情報の適切な管理</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・カルテの記載内容について、診療録管理委員会が中心となって適切な記載方法を院内に周知している。 また、カルテ開示については、運用規程に基づき、適切に実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>14件</td> <td>→ 23件(64.3%増)</td> </tr> </table> <p>・電子カルテ導入に伴い、従来、1日約1,000件の紙カルテ搬送に費やした労力が、ほぼ皆無となった。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | H21 | H22 | 開示件数 | 14件 | → 23件(64.3%増) | <p>(19) 診療情報の適切な管理</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | |
| | H21 | H22 | | | | | | | | | | | |
| 開示件数 | 14件 | → 23件(64.3%増) | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | |
| <p>(20) 診療支援システムの充実</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>C</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている。</td> </tr> </table> <p>・平成22年度の調査では、精神科に特化したシステムは複数あったが、公的病院への導入実績が少なく、更なる検討が必要となった。平成23年度に実施設計が発注できるよう準備している。</p> | 評価 | C | 当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている。 | <p>(20) 診療支援システムの充実</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>C</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている。</td> </tr> </table> <p><特記事項> 適切で効率的な医療を提供するために、早期の整備が求められる。</p> | 評価 | C | 当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている。 | | | | | | |
| 評価 | C | 当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている。 | | | | | | | | | | | |
| 評価 | C | 当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている。 | | | | | | | | | | | |

| 中期計画 | 年度計画 |
|--|---|
| <p>⑦医療安全に関する情報の収集・分析</p> <p>ア リスクマネージャーの活用 専従のリスクマネージャーを配置した医療安全管理室の機能を活用して、医療安全に関する情報の収集や分析を行うとともに、各部門のリスク管理者への研修など医療安全教育を徹底する。</p> | <p>⑦医療安全に関する情報の収集・分析</p> <p>ア リスクマネージャーの活用 リスクマネージャーを活用し、医療安全に関する情報の収集や分析を行うとともに、各部門のリスク管理者への研修など医療安全教育を徹底する。</p> |
| <p>イ 情報の共有化</p> <p>チーム医療を推進する中で、より確かな医療安全対策を講じるため、医療従事者間における医療関係情報の共有化を図る。</p> | <p>イ 情報の共有化</p> <p>より確かな医療安全対策を講じるため、医療従事者間における医療関係情報の共有化を図る。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------------|---------------------------|---------------------------|--|-----|-----|-------------------------------|----------------|------------------------|---|----------------|----------------|---|----|---|---------------------------|
| <p>(21) リスクマネージャーの活用</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・リスクマネージャーが、インシデントレポートを集計・分析し、医療安全委員会、病院会議へ報告し、必要に応じ院内インフォメーションで周知している。 ・全職員を対象とした医療安全研修会を実施した(2回実施 669名参加)。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデントレポート数 (うち生命危険に係わるもの)</td> <td>2,151件 (5件)</td> <td>2,782件(29.3%増) (5件)</td> </tr> <tr> <td>医療安全研修会</td> <td>4回実施 801名参加</td> <td>2回実施 669名参加</td> </tr> </tbody> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | H21 | H22 | インシデントレポート数 (うち生命危険に係わるもの) | 2,151件 (5件) | 2,782件(29.3%増) (5件) | 医療安全研修会 | 4回実施 801名参加 | 2回実施 669名参加 | <p>(21) リスクマネージャーの活用</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | |
| インシデントレポート数 (うち生命危険に係わるもの) | 2,151件 (5件) | 2,782件(29.3%増) (5件) | | | | | | | | | | | | | | |
| 医療安全研修会 | 4回実施 801名参加 | 2回実施 669名参加 | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(22) 情報の共有化</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・各部、各科にリスクマネージャーを設置し、セクション内の周知を行うとともに情報の共有化を図るため、インシデントレポートを集計・分析し、医療安全委員会、病院会議へ報告した。必要に応じ職員ポータルサイトで周知している(インシデント・レポート数 年2,782件)。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデントレポート数</td> <td>2,151件</td> <td>→ 2,782件(29.3%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・レポート数の29.3%の増加は、懸念される一方、より透明化された情報を共有し、対策実行への第一歩と捉えている。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | H21 | H22 | インシデントレポート数 | 2,151件 | → 2,782件(29.3%増) | <p>(22) 情報の共有化</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | |
| インシデントレポート数 | 2,151件 | → 2,782件(29.3%増) | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

2 医療に関する調査及び研究

| | |
|------|--|
| 中期目標 | <p>2 医療に関する調査及び研究</p> <p>県立病院で提供する医療の質の向上、県内の医療水準の向上、県民の健康の確保及び増進、また、新たな医療技術への貢献のため、調査及び研究に取り組むこと。</p> |
|------|--|

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|--|
| <p>2 医療に関する調査及び研究</p> <p>県立病院の有する医療資源を活用した調査及び研究を進めその成果を積極的に情報発信する。</p> <p>(1) 新薬開発等への貢献</p> <p>新薬開発等へ貢献するため治療の効果や安全性を確認するための治験を積極的に実施する。</p> <p>(2) 各種調査研究の推進</p> <p>医療技術の向上に貢献するため、豊富な臨床事例をもとに、各種調査研究を積極的に推進する。</p> | <p>2 医療に関する調査及び研究</p> <p>(1) 新薬開発等への貢献</p> <p>新薬の開発等へ貢献するため、治療の効果や安全性を確認するための治験を積極的に実施する。 また、治験に関する情報をホームページ等で公開する。</p> <p>(2) 各種調査研究の推進</p> <p>医療技術の向上に貢献するため、臨床事例をもとに、各種調査研究を積極的に推進する。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------|---------------------------|---------------------------|--|-----|--|-----|------|----|---|----|---------|-----|---|-----|---------|-----|---|-----|--------|----------|---------|----------|----------|---------|---------|----------|--------|---------|----------|---------|---------|---------|----------|--|----|---|---------------------------|
| <p>(23) 医療に関する調査及び研究</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>・がん分野の治験5件を開始した。その他臨床研究10件、製造販売後調査29件実施した。また、治験に関する情報をホームページで公開している(H21→がん治験 0件、臨床研究10件、製造販売後調査30件)。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td></td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>がん治験</td> <td>0件</td> <td>→</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>その他臨床研究</td> <td>10件</td> <td>→</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>製造販売後調査</td> <td>30件</td> <td>→</td> <td>29件</td> </tr> </table> <p>・本県のC型肝炎の感染率は、残念ながら東日本随一である。一方、世界的に見ると、現在のインターフェロン治療は、一定の成果を上げているものの、その限界が見えてきた。世界の薬剤メーカーは新たな経口剤のみでの治療、それも100%のウイルス駆除に向け、しびを削っている。当院は日本としてはじめて、世界同時開発を目指したグローバル治験を行うことを決定した。</p> <p>・法人化に伴い創設した「病院会議」、その中に第2部を設け、各診療科の診療内容、治療成績、最近のトピック、今後の展望など各科の特色の相互理解を深め、かつ、今後の医療に関する調査・研究課題を探索し、臨床前向き研究を開始した。</p> <p>・山梨県立中央病院年報の内容を改定、各科の実績、学会発表、論文など網羅的掲載に努めた(附記すると、本誌は国立国会図書館に保管されており、病院誌としてはめずらしい)。</p> <p>・国内外の各種学会へ参画を開始した。また院内学術会議を4回実施した。</p> <p>(出席している各種学会)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>日本内科学会</td> <td>アメリカ肝臓学会</td> <td>アジア肝臓学会</td> </tr> <tr> <td>日本消化器病学会</td> <td>日本胸部外科学会</td> <td>日本内視鏡学会</td> </tr> <tr> <td>日本内分泌学会</td> <td>日本心臓外科学会</td> <td>日本結核学会</td> </tr> <tr> <td>日本糖尿病学会</td> <td>日本口腔外科学会</td> <td>日本救急医学会</td> </tr> <tr> <td>日本高血圧学会</td> <td>日本乳がん学会</td> <td>日本神経外科学会</td> </tr> </table> <p>(院内学術会議テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「採血業務繰り上げ始業思考とその検証」 「後方病院への転院について」 「リンパ浮腫に対するリンパ管細静脈接吻」 「リンパ浮腫患者の現状と課題・リンパ浮腫コンサルテーションの結果」 「BFH認定に向けての取り組み」 「糖尿病バス入院患者への栄養の関わりと効果」 「外来化学療法室の現状と課題」 「ドクターカーの現状と今後の展望」 | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | H21 | | H22 | がん治験 | 0件 | → | 5件 | その他臨床研究 | 10件 | → | 10件 | 製造販売後調査 | 30件 | → | 29件 | 日本内科学会 | アメリカ肝臓学会 | アジア肝臓学会 | 日本消化器病学会 | 日本胸部外科学会 | 日本内視鏡学会 | 日本内分泌学会 | 日本心臓外科学会 | 日本結核学会 | 日本糖尿病学会 | 日本口腔外科学会 | 日本救急医学会 | 日本高血圧学会 | 日本乳がん学会 | 日本神経外科学会 | <p>(23) 医療に関する調査及び研究</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p><特記事項></p> <p>新たにかん分野の治験5件を開始するとともに、日本初となるC型肝炎の世界同時開発を目指したグローバル治験の実施を決定するなど、先駆的な取り組みを評価する。</p> | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| がん治験 | 0件 | → | 5件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他臨床研究 | 10件 | → | 10件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 製造販売後調査 | 30件 | → | 29件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本内科学会 | アメリカ肝臓学会 | アジア肝臓学会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本消化器病学会 | 日本胸部外科学会 | 日本内視鏡学会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本内分泌学会 | 日本心臓外科学会 | 日本結核学会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本糖尿病学会 | 日本口腔外科学会 | 日本救急医学会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本高血圧学会 | 日本乳がん学会 | 日本神経外科学会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

3 医療に関する技術者の研修

3 医療に関する技術者の研修

優秀な医療従事者の確保と育成を図るとともに、県内の医療水準の向上のため、他の医療機関と連携して研修等の充実に努めること。

(1) 医療従事者の研修の充実

医療従事者の知識・技術の向上を図り、また、医療従事者に魅力ある病院となるよう研修の充実に努めること。

(2) 県内の医療水準の向上

他の医療機関等の医療従事者に対し、県立病院の持つ知識や技術を研修等により普及し、県内の医療水準の向上を図ること。

また、医療従事者養成機関等の実習の受け入れ等、本県医療の未来を担う医療従事者の育成に協力すること。

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|--|
| <p>3 医療に関する技術者の研修</p> <p>医療従事者の研修の充実に取り組むとともに、他の医療機関との交流を進める。</p> <p>(1) 医療従事者の研修の充実</p> <p>①医師の専門性の向上 研修体制の充実や専門医・認定医等の資格取得を支援し、医師の専門性の向上を図る。</p> <p>②認定看護師等の資格取得促進 認定看護師等の資格取得を支援するとともに、資格を取得しやすい環境を整える。</p> <p>③研修の充実 院内研修会の開催をはじめ、先進的な研修・研究会への派遣などを行い職員の資質の向上を図る。</p> | <p>3 医療に関する技術者の研修</p> <p>(1) 医療従事者の研修の充実</p> <p>①医師の専門性の向上 研修体制の充実や専門医・認定医等の資格取得を支援するとともに、医師の専門性の向上を図る。</p> <p>②認定看護師等の資格取得促進 認定看護師等の資格取得を支援するとともに、資格を取得しやすい環境を整える。</p> <p>③研修の充実 院内研修会の開催をはじめ、先進的な研修・研究会への派遣などを行い職員の資質の向上を図る。</p> |
| <p>(2) 県内の医療水準の向上</p> <p>①地域医療従事者の研修 他の地域医療機関の医療従事者を対象とした、医療技術の向上に資する研修を実施する。</p> <p>②研修、実習等の実施 他の医療機関の医療従事者を対象に、拠点病院として有する知識や技術を活かして、がん診療、感染症診療に係る研修を実施する。</p> <p>③医療従事者養成機関からの実習生受け入れ 看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師などを旨とする実習生を養成機関から積極的に受け入れ人材養成の支援に努める。</p> | <p>(2) 県内の医療水準の向上</p> <p>①地域医療従事者の研修 他の地域医療機関の医療従事者を対象とした病院セミナーの定期的な開催など、医療技術の向上に資する研修を実施する。</p> <p>②研修、実習等の実施 他の医療機関の医療従事者を対象に、拠点病院として有する知識や技術を活かして、がん診療、感染症診療に係る研修を実施する。</p> <p>③医療従事者養成機関からの実習生受け入れ 看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師などを旨とする実習生を養成機関から積極的に受け入れ人材養成の支援に努める。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------|----------------------------|---------------------------|-----|-----|------------------|---------------|-----|-----|-----------|-------------|---------------|----------|--|---------|--------------|----------------------------|--------|------------|---------|--------|--------|-----------|---|----|---|----------------------------|
| <p>(24) 医療従事者の研修の充実</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・現在、各分野に専門医111名、認定医13名が在籍している。</p> <table border="1"> <tr> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>専門医 79名</td> <td>111名 (40.5%増)</td> </tr> </table> <p>・国内外の各種学会に積極的に参画するとともに(P34)、院内学術会議の開催(P34)や教育研修委員会の研修を実施している(接遇研修会、患者の権利保護研修会、医療倫理研修会)。</p> <p>・現在、認定看護師は14名在籍している(中央病院10名、北病院4名)。また、乳がん分野等の認定看護師資格取得のため、3名が研修中である。</p> <table border="1"> <tr> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>認定看護師 13名</td> <td>14名 (7.7%増)</td> </tr> </table> <p>・8月～12月に他病院に医師派遣研修として2名を派遣をした(腹腔鏡手術の研修)。</p> <p>(その他院内研修会)</p> <table border="1"> <tr> <td>緩和ケア研修</td> <td>児童虐待予防研修</td> <td>リンクナース学習会</td> </tr> <tr> <td>消化器症状研修</td> <td>糖尿病リスクマネジメント</td> <td>麻酔の基本研修</td> </tr> <tr> <td>NST勉強会</td> <td>癌治療カンファランス</td> <td>手術体位学習会</td> </tr> <tr> <td>継続看護研修</td> <td>呼吸器学習会</td> <td>電気メス学習会 等</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | H21 | H22 | 専門医 79名 | 111名 (40.5%増) | H21 | H22 | 認定看護師 13名 | 14名 (7.7%増) | 緩和ケア研修 | 児童虐待予防研修 | リンクナース学習会 | 消化器症状研修 | 糖尿病リスクマネジメント | 麻酔の基本研修 | NST勉強会 | 癌治療カンファランス | 手術体位学習会 | 継続看護研修 | 呼吸器学習会 | 電気メス学習会 等 | <p>(24) 医療従事者の研修の充実</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門医 79名 | 111名 (40.5%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定看護師 13名 | 14名 (7.7%増) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 緩和ケア研修 | 児童虐待予防研修 | リンクナース学習会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 消化器症状研修 | 糖尿病リスクマネジメント | 麻酔の基本研修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| NST勉強会 | 癌治療カンファランス | 手術体位学習会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 継続看護研修 | 呼吸器学習会 | 電気メス学習会 等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(25) 県内の医療水準の向上</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・地域周産期医療従事者研修会(新生児蘇生法講習会)を開催した。(5回実施 医師14名、助産師30名、看護師27名、救急救命士1人参加)</p> <table border="1"> <tr> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>地域周産期医療従事者研修会 5回</td> <td>5回</td> </tr> </table> <p>今後、院内に地域医療従事者研修を総括する機関を設置し、分野を拡大していく。</p> <p>・エイズ研修会(3回実施)やがん医療従事者研修会(5回実施)を実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>エイズ研修会 3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>がん医療従事者研修会 5回</td> <td>5回</td> </tr> </table> <p>・看護師、薬剤師、栄養士、救命救急士の実習生受け入れを実施した。(受入状況 看護師686人、薬剤師3人、栄養士3人)</p> <p>その他、NST(栄養サポートチーム)専門療法士実地修練(4人)を実施した。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | H21 | H22 | 地域周産期医療従事者研修会 5回 | 5回 | H21 | H22 | エイズ研修会 3回 | 3回 | がん医療従事者研修会 5回 | 5回 | <p>(25) 県内の医療水準の向上</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域周産期医療従事者研修会 5回 | 5回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エイズ研修会 3回 | 3回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| がん医療従事者研修会 5回 | 5回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

4 医療に関する地域への支援

4 医療に関する地域への支援

本県の基幹病院として、他の医療機関と密接な連携を通じて、県民に良質な医療を提供するとともに、地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう努めること。

(1) 地域医療機関との協力体制の強化

県立病院として、他の医療機関との協力のもと、有病・病診連携を推進し、県全体として県民に適切な医療を提供できる体制の構築に努めること。

(2) 地域医療への支援

医療機器等の共同利用の促進など、地域医療への支援を行うこと。
また、臨床研修指定病院等としての機能を充実し、研修医や専修医の育成を図り、県内の公的医療機関の医師の確保・定着に協力すること。

さらに、県立病院に必要な医師の確保を図る中で、公的医療機関への支援に努めること。

(3) 社会的な要請への協力

県立病院が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的に協力すること。

| 中期計画 | 年度計画 |
|--|--|
| <p>4 医療に関する地域への支援</p> <p>地域医療機関との連携の強化及び機能の分担を図る中で、県立病院の機能を活かし、医療に関する地域への支援を行う。</p> | <p>4 医療に関する地域への支援</p> |
| <p>(1) 地域医療機関との協力体制の強化</p> <p>県立中央病院が、他の医療機関との協力のもと、病院と病院との連携や病院と診療所との連携である、いわゆる有病・病診連携を推進し、県全体として県民に適切な医療を提供できる体制を構築するため、地域医療機関の医師との共同利用病床を整備するとともに、紹介率・逆紹介率の向上や登録医制度の普及に努めるなど、医療法（昭和23年法律第205号）第4条に定められた地域医療支援病院の承認に向けた取り組みを進める。</p> | <p>(1) 地域医療機関との協力体制の強化</p> <p>県立中央病院が、他の医療機関との協力のもと、県全体として県民に適切な医療を提供できる体制を構築するため、総合相談センターから地域連携医療部への改編や、紹介率・逆紹介率の向上や登録医制度の普及に努めるなど、医療法（昭和23年法律第205号）第4条に定められた地域医療支援病院の承認に向けた取り組みを進める。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | |
|--|----------|----------------------------|---------------------------|---|----|---|----------------------------|
| <p>(26) 地域医療機関との協力体制の強化</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・地域の医療機関との連携関係の強化を図るため、総合相談センターから地域医療連携部への組織改編を実施するとともに、執務室の配置を改善した。</p> <p>・理事長、院長、事務局長が県内40病院を訪問し、意見交換を実施し、それを基に、9月に病院間の連携に携わる看護師等の医療スタッフが一同に会した病院連携室会議を開催した（県内29病院から48名出席）。</p> <p>H21 H22 紹介率 48% → 53%(5P増) 逆紹介率 33% → 34%(1P増)</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | <p>(26) 地域医療機関との協力体制の強化</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 | | | | | |

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|---|
| <p>(2) 地域医療への支援</p> <p>①医療機器の共同利用 県立中央病院の施設、設備、高度・特殊な医療機器の共同利用などを進める。</p> <p>②臨床研修医、専修医の受け入れ態勢の強化 県立病院の機能を活かした研修プログラムの内容の充実を図るとともに、指導医の育成、資質向上に積極的に取り組むことで、臨床研修医と専修医を増員し、本県への医師の定着を促進する等地域医療への支援を行う。</p> <p>また、精神科に係る専修医の研修体制を新たに県立北病院に整備する。</p> <p>③公的医療機関の支援 県立病院の医師の増員を図る中で、公的医療機関への外来診療の応援協力がしやすい仕組み作りを進める。</p> <p>④県内の医師トレーニングセンター化の推進 県内の各地域医療機関に勤務する自治医科大学の卒業生等が、地域の医療ニーズに的確に対応できるよう、必要な知識や技術の修得を支援する。</p> | <p>(2) 地域医療への支援</p> <p>①医療機器の共同利用 県立中央病院の施設、設備、医療機器の共同利用に向けた制度の検討を進める。</p> <p>②臨床研修医、専修医の受け入れ態勢の強化 研修プログラムの内容の充実を図るとともに、指導医の育成、資質向上に取り組む。精神科に係る専修医の研修体制を県立北病院に整備する。</p> <p>③公的医療機関の支援 公的医療機関への外来診療の応援協力がしやすい仕組みの検討を進める。</p> <p>④県内の医師トレーニングセンター化の推進 県内の各地域医療機関に勤務する自治医科大学の卒業生等が、地域の医療ニーズに的確に対応できるよう、必要な知識や技術の修得を支援する。</p> |
| <p>(3) 社会的な要請への協力</p> <p>①救急救命士の育成 救命救急センターの機能を活かして、救急救命士の育成に努める。</p> <p>②看護師養成機関等への講師派遣 看護師養成機関での授業や地域医療機関の医療従事者を対象とした研修会などに対し、講師を派遣する。</p> <p>③公的機関からの鑑定・調査への協力 公的機関からの医療に関する鑑定や調査について積極的に協力する。</p> | <p>(3) 社会的な要請への協力</p> <p>①救急救命士の育成 救命救急センターの機能を活かして、救急救命士の育成に努める。</p> <p>②看護師養成機関等への講師派遣 看護師養成機関での授業や地域医療機関の医療従事者を対象とした研修会などに対し、講師を派遣する。</p> <p>③公的機関からの鑑定・調査への協力 公的機関からの医療に関する鑑定や調査について積極的に協力する。</p> |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------------|----------------------------|---------------------------|-----|----------------|------|------|------------|--------------|--|----|------|--|----|---|----------------------------|
| <p>(27) 地域医療への支援</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・CT、MRI、RI等の放射線検査機器を活用し、開業医等から、依頼検査を実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>依頼検査</td> <td>52件</td> <td>→71件(36.5%増)</td> </tr> </table> <p>・初期臨床研修プログラムや後期研修プログラムの改定をし、中央病院の専修医数は17名から21名に増加した(23.5%増)。また、4月から、北病院に後期臨床研修医制度が整備され、専修医2名を新たに受入れ、精神科医師の確保並びに資質の向上に取り組んだ。</p> <p>・上述のとおり、若手医師の増加とその教育の充実により、地域医療支援を検討している。</p> <p>・公的医療機関の支援については、山梨の中長期的なニーズに鑑み、引き続き応援協力の仕組みを検討する。</p> <p>・県内の地域医療機関に勤務する自治医科大学の卒業生の研修を中央病院で受入れた(山梨病院1人、飯富病院5人、塩川病院4人、南部医療センター1人)。</p> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | H21 | H22 | 依頼検査 | 52件 | →71件(36.5%増) | <p>(27) 地域医療への支援</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |
| | H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | |
| 依頼検査 | 52件 | →71件(36.5%増) | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(28) 社会的な要請への協力</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・救急救命士に対し、就業前実習、再教育実習、薬剤投与実習、気管挿管実習などを実施(再教育実習等101名、就業前3名、臨床4名、気管挿管6名、メディカルオフィサー3名)。</p> <p>・県立大学、甲府看護専門学校、富士吉田市立看護専門学校に対し職員を講師として派遣している。</p> <p>・捜査機関からの照会、労働基準監督署等の鑑定、各種医療機関等からの調査に協力している。</p> <table border="1"> <tr> <td>H22</td> <td>警察・検察・裁判所からの照会</td> <td>137件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他機関からの照会</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>157件</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | H22 | 警察・検察・裁判所からの照会 | 137件 | | その他機関からの照会 | 20件 | | 計 | 157件 | <p>(28) 社会的な要請への協力</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。</td> </tr> </table> | 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である | | | | | | | | | | | | | | |
| H22 | 警察・検察・裁判所からの照会 | 137件 | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他機関からの照会 | 20件 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 157件 | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | B | 当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である。 | | | | | | | | | | | | | | |

| |
|---|
| 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 5 災害時における医療救護 |
|---|

| | |
|------|---|
| 中期目標 | 5 災害時における医療救護 災害時における県民の生命・安全を守るため、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、災害医療チームを派遣するなど医療救護に取り組むこと。 |
| | (1) 医療救護活動の拠点機能 日頃から災害等に対する備えに努め、大規模災害等における本県の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 (2) 他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、災害医療チームを派遣するなど、積極的に医療救護活動に協力すること。 |

| 中期計画 | 年度計画 |
|---|---|
| 5 災害時における医療救護 県立病院として、日頃から災害発生時における適切な医療救護活動が実施できるよう訓練するとともに、災害時においては、山梨県地域防災計画（大規模災害時医療救護マニュアル）に基づき、迅速な医療救護活動に取り組む。 (1) 医療救護活動の拠点機能 大規模災害を想定したトリアージ訓練などを定期的に行うとともに、災害発生時には、知事の要請に応じてDMATを派遣するなど、基幹災害拠点病院としての機能を発揮する。 (2) 他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、知事の要請に応じてDMATを派遣するなど、積極的に医療救護活動に協力する。 | 5 災害時における医療救護 (1) 医療救護活動の拠点機能 大規模災害を想定したトリアージ訓練などを定期的に行うとともに、災害発生時には、知事の要請に応じてDMATを派遣するなど、基幹災害拠点病院としての機能を発揮する。 (2) 他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、知事の要請に応じてDMATを派遣するなど、積極的に医療救護活動に協力する。 |

| 業務実績及び法人の自己評価 | 評価委員会の評価 | | | | | | |
|---|----------|---------------------------|---------------------------|--|----|---|---------------------------|
| (29) 災害時における医療救護 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">評価</td> <td style="width: 5%;">A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> ・東日本大震災の被災地へ医師、看護師等で構成する医療救護班を3月18日から4月17日まで、福島県いわき市周辺の仮設診療所や避難所等へ派遣し、医療救護活動を展開した(医師、看護師等延べ24名派遣)。 ・10月にボランティア30名の参加した大規模災害時対応訓練を実施した。 ・DMATチームの構成員である医師、看護、事務の職種別の研修に参加した。 ・本年度のDMAT隊員は、医師5人、看護師8人、事務1人が確保されている。 (1チームは、医師2人、看護師2人、事務1人で編成) ・3月11日から16日まで東日本大震災の被災地へ、新たに法人化後整備したDMATを派遣した。 | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | (29) 災害時における医療救護 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">評価</td> <td style="width: 5%;">A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <特記事項> 東日本大震災の被災地に、速やかに、DMATチームを派遣し、引き続き医療救護班を1ヶ月余り派遣するなど、迅速かつ長期間にわたり医療救護活動を実施したところであり、今回の災害時の対応を高く評価する。 | 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | |
| 評価 | A | 当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている | | | | | |